

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8288
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	スポーツ係
事務事業名	スポーツ大会等開催・誘致奨励補助金		事業コード	15210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63年度
施策名	第1施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市スポーツ振興計画 スポーツ大会等開催・誘致奨励補助要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
高度な技術を身近で見られる機会を提供することにより、市民のスポーツの普及・振興に役立たせるほか当該競技愛好する者には、一層の競技力向上と理解を深める目的で全国大会規模以上の大会及び模範演技会を開催・誘致する市内の公共的団体に対し補助する。		市内の公共的団体	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・補助金及び交付金：(0円)(予算額：500千円) 実績なし (補助金交付基準) A：国際ランキング10位以内の選手が主になって行われる国際規模または国内の最上位クラスの選手が主になって行われる全国規模の競技会等：300千円 B：A以外の国際規模または国内上位クラスの選手が主になって行われる全国規模の競技会等：200千円 C：A，B以外の全国規模の競技会等：100千円		高度なスポーツ大会の誘致	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名なし	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	大会誘致予算補助率		
指標式	各年度の補助金額/大会数/予算額×100 (H11度の計算式：300/1/540×100)		
指標設定の意図	誘致した大会への補助金額、大会数と予算額により高度な大会誘致予算補助率を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	55.6	0.0	a 0.0	b 0.0	100.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	300	0	500	400
	人員・時間数	12h	12h	12h	12h
	人件費	51	51	51	51
	その他経費	0	0	0	0
	合計	351	51	551	451
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか

評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	高度な大会の誘致は平成12年度より実績が無く、市民のスポーツ振興のためにも積極的に誘致に取り組む必要がある。	

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か

評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 市民のスポーツへの関心は益々高まっており、スポーツを行うことのみならず、高度な大会等を観戦することによりその意識の高揚及び競技力の向上の一助となると考える。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 補助金の額等は妥当と思うが、大会誘致の実績が少ないため、未執行となる場合が多い。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 本市スポーツ振興を積極的に行う立場として、市が行うことは適当と思う。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか

評価 C ▼	A : 満足できる	理由 : 大会誘致実績が無い状況下では、満足など得られない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 市民のスポーツへの関心は益々高まっており、スポーツを行うことのみならず、高度な大会等を観戦することによりその意識の高揚及び競技力の向上の一助となり、本市スポーツ振興のためには重要な事業である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 補助金制度について更に各種目協会に周知するとともに、施設での受入態勢を強化する。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明 : 実績の無い状況下では、コスト改善の判断が不能である。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	県内一部市町村が実施しているが、補助金交付基準の区分、金額等も概ね同様である。
		説明
今後の進め方		本事業は、近年誘致実績が少ない点が大きな問題であるが、主催側と誘致側との大会会場としてのニーズが合致しないと誘致できないため、本市としては、各種目協会等に積極的協力を求めるとともに、大会会場としてふさわしい環境づくりにも努めていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

・制度の必要性について検討するとともに、より効果的な支援方策について検討すべきである。